

議案に対する 討 論

平成31年度予算に 対する討論

飯塚 正議員（日本共産党）

反対 平成31年度予算に対し、反対の立場から討論を行う。

一般会計では、自衛官募集事務を行っている点、マイナンバーカードの作成の推進を図っている点、敬老会開催事業、ミニデイホーム事業、井頭温泉招待事業の対象となる年齢を70歳から75歳に引き上げている点、指定ごみ袋の有料化を続けている点、企業誘致の促進を図るための補助を行っている点、市道整備で特に農村部における生活道路の整備について区からの要望に応えられていない点、奨学資金貸付事業において給付型制度になっていない点、小中学校の給食費が無料化されていない点に反対するものである。

特別会計では、国民健康保険特別会計で均等割が残されたままで高い保険税となっている点、後期高齢者医療特別会計では高齢者を差別する事業である点、介護保険特別会計では保険料が重く賦課されている点、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計では使用料に消費税を上乗せしている点に反対するものである。

野沢 達議員（真岡自民党議員会）

賛成 平成31年度予算に対して、真岡自民党議員会を代表し、賛成の立場から討論を行う。

平成31年度は第11次市勢発展長期計画増補版に掲げる5つのプロジェクトの着実な推進、5年目の最終年度となる真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開による人口減少問題への対応、さらには議会での一般質問や会派の建議要望、市長との話し合い事業における市民の要望などにも真摯に耳を傾け、これらを実現する予算としたことに対して、高く評価する。

第11次市勢発展長期計画増補版のプロジェクトに沿って、所見を述べる。

「こどもの元気な成長プロジェクト」では、本市独自の総合学力調査の実施、タブレットや電子黒板を授業で効果的に活用するため、安定したネットワーク環境の構築、英語教育の充実を図っていることなどに對し、高く評価する。

「若い世代・子育て応援プロジェクト」では、とちぎWORKWORK K移住・就職促進事業により、栃木県と連携し、東京圏からのUIJターンを推進することで、市内事業者における人材確保と地元就労の拡大

への取組などに対し、高く評価する。

「いつまでも安心な暮らしの実現プロジェクト」では、高齢者や障がいのある人にも優しい、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、4月から芳賀赤十字病院の敷地内に真岡市休日夜間急患診療所を開設し、救急医療体制の充実を図ることなどに對し、高く評価する。

「とちぎをリードする産業プロジェクト」では、収益力の底上げを図る支援への取組とともに、来年3月には「わくわく真岡 いちごで結ぶ人・街・世界」をテーマとした全国いちごサミットinもおか2020を開催することで、真岡のイチゴの魅力を生かして情報発信し、にぎわいと活気の創出などに期待する。北関東の交通の要所としてのメリットを最大限発揮できる新たな産業団地整備への取組に対し、高く評価する。

「まちの活力再生・魅力創出プロジェクト」では、まちなか居住のための基盤整備や道路と町並みが調和した沿道整備が推進されるよう期待する。新庁舎周辺整備については、幅広い世代の市民が利用できる複合交流拠点施設整備への取組に対し、高く評価する。観光振興については、ドスティネーションキャンペーンにより発掘したD51運転体験やいちご

染め体験などを継続的に事業展開するとともに、映像によるまちのPRと活性化を展開するよう期待する。

総合運動公園の南ブロックの整備を推進することに対し、高く評価する。

これら以外の主要施策では、土地区画整理事業について引き続き亀山北、中郷・萩田地区の事業推進に取り組むとともに、市内全域にわたり道路交通網の整備が着実に進んでいること、家庭訪問等の支援を実施すること、家庭訪問等の支援を実施するスクールソーシャルワーカーが配置され、教育相談体制の充実が図られていること、特別支援教育体制の充実が図られていること、新生児の聴覚検査費用の支援の実施や、子育て世代の不安や負担の軽減が図られていること、4月からリサイクルセンターの本格稼働により、さらなるごみの減量化が推進されていること、災害時の初動体制の強化に努めていること、市民サービスの向上のため、総合窓口システムの導入を図るとともに、免震装置を備えた庁舎建設工事が平成32年度中の開庁を目指し進んでいることなど、高く評価する。

事業執行に当たっては、事業の必要性、優先性、緊急性などに十分留意しながら、市長を先頭に、スピード感を持って全職員一丸となって推進されるよう期待する。